

1. 件名：
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構原子力科学研究所の訓練実施結果報告書（案）の概要説明について
2. 日時：
令和3年5月12日（水）10時00分～11時00分
3. 場所：
原子力規制庁東海・大洗原子力規制事務所
4. 出席者：
原子力規制庁東海・大洗原子力規制事務所
関谷原子力防災専門官、大高原子力運転検査官
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
原子力科学研究所（以下「原科研」という。）
マネージャー、技術副主幹
5. 要旨：
原科研より、3月26日（金）午後実施された総合防災訓練の訓練実施結果報告書（案）の説明を受けた。
訓練は、地震の発生を起因として、NSRR及びBECKYの2施設において、施設敷地緊急事態及び全面緊急事態に進展する原子力災害を想定し、これに対する実効的な対応能力の向上を目的として実施された。
昨年の総合防災訓練での反省事項に関して有効な改善策を案出し、事前に教育や個別訓練を行い、本年度の総合防災訓練において、防災組織が有効に機能し、円滑に活動が行われたことが確認された。
特に今年度の訓練においては、報告用紙の工夫や書架資料の更新等の事前準備を十分に行い、コロナ感染対策にも着意を払いつつ、清清と訓練が実施されており、この良好な状態を維持向上して行くように助言した。
6. その他：配布資料なし